



**松元校区まちづくり協議会
地域振興計画**

薩摩松元駅

**第2期まちづくりプラン
(2023年～2027年)**

【表紙の写真について】

表紙の写真は松元校区にある「薩摩松元駅」です。薩摩松元駅は昭和24年に日本国有鉄道へ設置の請願を行いましたが、計画地が斜面に位置していることから設置許可が得られませんでした。

しかしながら、度重なる請願により設置の許可がされました。

薩摩松元駅は上伊集院村（のちの松元町）の財源及び村民の寄付により駅の設置費用を全額負担し、さらに村民による奉仕作業が行われ「薩摩松元駅」が開設されました。

松元校区まちづくりプラン (第2期地域振興計画)

目 次

1. まちづくり協議会について P 1
2. 数字で見る松元校区 P 2
3. 校区の出来事年表 P 3
4. 写真で振り返る松元校区 P 4
5. 校区の施設等 P 5
6. 校区の史跡マップ P 6
7. 校区の活動を支えてくれる
地域の団体等 . . . P 7
8. まちづくりの目標、基本方針 . . . P 8
9. 校区の現状と課題
5年間の目標・事業計画 . . P 9～P 14
10. これまでの地域づくりの様子 . . . P 15～16



1 まちづくり協議会について



Q

「まちづくり協議会」とは何ですか？

町内会や自治公民館、地域の様々な団体、校区に住んでいるみなさんと協力・連携して「明るく住みよい ふるさと松元」を目指して活動をする組織です。

A



Q

なぜ今「まちづくり協議会」が必要なのですか？

松元校区は交通の利便性もよく、鹿児島市の中でも人口が増加している地域です。松元小学校の生徒数も20年前に比べて2倍以上増えています。

その反面、少子高齢化や核家族化などが進行し「町内会加入者の減少」「高齢者の社会的孤立」「地域への関心度の希薄化」「伝統文化や行事の伝承」「地域の担い手不足」など様々な地域課題があります。

このような地域課題に対応していくため、地域全体で話し合い、連携・協力していくことで解決にあたる持続可能な組織が必要なのです。その組織が「まちづくり協議会」です。

A



Q

「まちづくり協議会」ではどのようなことをするの？

様々な団体や地域の皆さんと連携、情報の共有を図り、地域の課題解決や地域資源の再発見・活用などに取り組み、将来を思い描き、もう一度「地域のつながり」を強い絆で結ぶための「まちづくりプラン」をつくります。その計画実現に向けて6つの部会が役割分担をし、様々な事業を展開していきます。

A



Q

松元校区に住んでいる私たちと「まちづくり協議会」とはどのように関わっていくのですか？

「まちづくり協議会」では地域全体で行うイベントから、同じ趣味や悩み、目的を持った方の集まりを通して皆さんが仲良くなり絆を深めていただくことを1番の目的としています。

校区の皆さんに様々な事業に参加していただき、老若男女関係なく交流しその延長線上で課題が解決され、次のステップへ進むことが出来たらとても素晴らしいことです。

また「何かお手伝いをしたい」という方も大歓迎です。

A



2 数字で見る松元校区

年代別の人口（令和4年10月1日現在）

年齢	総数	0～18歳	19～39歳	40～59歳	60～79歳	80歳以上
上谷口町	2,633	613	466	669	627	258
福山町	744	146	117	182	225	74
松陽台	1,874	783	432	503	137	19
計	5,251	1,542	1,015	1,354	989	351

校区の世帯数及び人口の状況

町名	区分	昭和59年	平成16年	令和元年	令和4年
上谷口町	世帯数	862	964	993	1,009
	人口	2,873	2,518	2,300	2,457
福山町	世帯数	227	307	277	289
	人口	734	792	715	737
松陽台町	世帯数	－	6	531	594
	人口	－	16	1,763	1,836
全体	世帯数	1,089	1,277	1,801	1,892
	人口	3,607	3,326	4,778	5,030

町内会等加入率の状況

町名	区分	平成16年	令和3年
上谷口町	加入世帯	788	625
	加入率	79.4%	55.7%
福山町	加入世帯	266	234
	加入率	88.4%	72.2%
松陽台町	加入世帯	－	537
	加入率	－	92.7%

小中学校生徒数

学校名	昭和24年	平成19年	令和4年
松元小学校	534	198	439
松元中学校	770	504	701

松元地域は鹿児島市の旧5町域（松元・吉田・喜入・桜島・郡山）の中で唯一人口が増加しています。

3 校区の出来事年表



1886年	福山村瀬戸出口（現在の福山町）に「善福簡易小学校」が設置される
1889年	町村制の実施にあたり「上伊集院村」として誕生する
1892年	「善福簡易小学校」が上谷口へ移転し「善福尋常小学校」に改称される（現在の松元小学校）
1894年	「上伊集院村役場」が現在の松元駅前郵便局の場所へ移転する
1899年	「上伊集院高等小学校」が「善福尋常小学校」に併設される
1904年	「善福尋常小学校」と「上伊集院高等小学校」を合併し「上伊集院尋常高等小学校」となる
1913年	上谷口に鉄道が通り「饅頭石駅」（現在のの上伊集院駅）が設置される
1914年	鹿児島本線が境内を横切ることになり「柿本神社」が入佐の「大鳥神社」に合祀される
1919年	「上伊集院郵便局」が開局。農業倉庫、寺社、病院、住宅が周辺に設置され「饅頭石商店街」（のちの折尾商店街）と称される
1927年	「上伊集院村役場」が現在の松元校区公民館の場所へ移転する 「上伊集院中学校」が設置される。村役場も移転し商店、病院、衣料品店などが設置され村の経済の中心地となる
1941年	国民学校令が施行され「上伊集院尋常高等小学校」から「上伊集院国民学校」に改称される
1947年	学校改革により「上伊集院国民学校」から「上伊集院小学校」に改称される
1947年	「上伊集院中学校」として上谷口（現在の薩摩松元駅前）に開校する
1949年	「饅頭石駅」が「上伊集院駅」へ改称される
1954年	地元の要望により「薩摩松元駅」が開設される
1960年	上伊集院村の名称が「松元村」に変更。同日町制施行し「松元町」となる
1960年	町制施行に伴い「上伊集院中学校」は「松元中学校」へ、「上伊集院小学校」は「松元小学校」へ改称される
1966年	「松元駅前郵便局」が開局され、南国交通、鹿児島交通のバス路線の松元経由が開始 松元中学校の校舎を現在地に移転。跡地は「松元幼稚園」となる
1983年	福山町に「鹿児島県立松陽高等学校」が設置され、上伊集院駅が改築される
1987年	「松元町役場」が現在の場所に新築移転し「松元町保健センター」も併設される
2003年	ガーデンヒルズ松陽台として造成され、大字「松陽台」（現在の松陽台町）が設置される
2004年	松元町が「鹿児島市」に編入される
2016年	松元校区まちづくり協議会が設立される



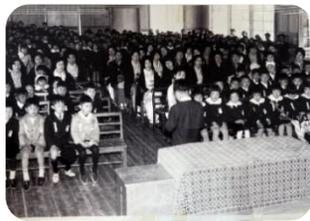
4 写真で振り返る松元校区



今から50年ほど前の校区の風景



小学校始業式の様子



小学校入学式の様子



小学校運動会の様子



地域運動会の様子



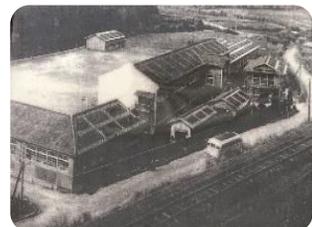
小学校のクラス写真



小学校校舎



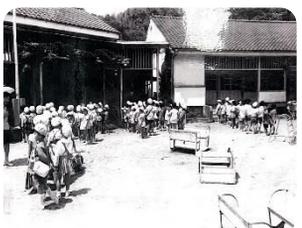
松元駅から見た幼稚園



松元駅から見た中学校



通園の様子



幼稚園の様子



町内一周駅伝の様子①



町内一周駅伝の様子②



消防団出初式①



消防団出初式②



消防団出初式③



給食センター配食車



松元町役場



J R 単線時代



内田団地造成の様子



駅下商店街の様子



5 校区の施設等



①松元児童クラブ (第1)



②松元小学校



③松元校区公民館



④薩摩松元駅



⑤松元支所



⑥松元中学校



⑦松元弓道場



⑧松元武道館



⑨松元せせらぎ公園



⑩商工会松元支部



⑪松元幼稚園



⑫松元公民館



⑬あいハウジング
アリーナ松元



⑭あいハウジングドーム



⑮茶山房



⑯あいハウジング
グラウンド



⑰西消防署松元分遣隊



⑱松陽高等学校



⑲松元児童クラブ
(第2・第3)



⑳上伊集院駅



6 校区の史跡マップ



① 福山下の石橋



② 福山下の阿弥陀如来石座像



③ 福山穂積の五輪塔



④ 福山下の田の神様



⑤ 福山中の田の神様



⑥ 福山中の近世石碑



⑦ 小長崎神社



⑧ 福山上の井川



⑨ 内田上中の水神



⑩ 上谷口の里程標



⑪ 松元下の田の神様



⑫ 内田下の田の神様



⑬ 小原権現石塔群



⑭ 小原権現



⑮ 内田の僧侶墓



⑯ 上坊石塔群



⑰ 上坊観音



⑱ 内田上の水神



⑲ 柿本神社

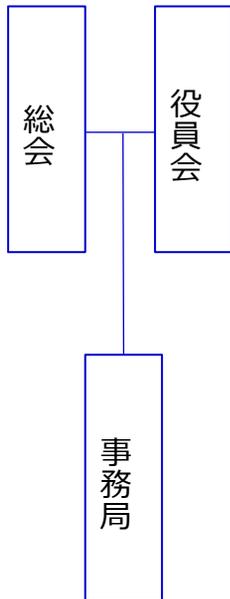


⑳ 柿元の諏訪大明神跡



7 校区の活動を支えてくれる地域の団体等

組織構成図



部会名	部会	協力団体
まちづくり部会	<ul style="list-style-type: none"> 上伊集院郵便局 松元駅前郵便局 松元通り会 (株)みなみの風不動産 校区有志者 	(各自治公民館、町内会、自治会) ・折尾町内会 ・松陽台町内会 ・県営松陽台第1団地自治会 ・県営松陽台第2団地自治会 ・田原春自治公民館 ・柿元自治公民館 ・松元上自治公民館 ・松元下自治公民館 ・前田自治公民館 ・入田本坊自治公民館 ・井之上住宅自治公民館 ・内田団地自治公民館 ・内田上自治公民館 ・内田中自治公民館 ・内田下1自治公民館 ・内田下2自治公民館 ・内田下3自治公民館 ・福山上自治公民館 ・福山中自治公民館 ・福山下自治公民館 ・福山町内会
安心安全部会	<ul style="list-style-type: none"> 消防分団松元分団 消防分団折尾分団 松元通り会青色防犯パトロール隊 松元校区青色防犯パトロール隊 内田地域青色防犯パトロール隊 松元小学校PTA生活指導部 松元小学校 松元小学校通学保護員 校区有志者 	(その他の団体) ・商工会松元支部 ・西消防署松元分遣隊 ・西警察署松元交番 ・松陽高等学校 ・松元幼稚園 ・松元中央保育園 ・松元児童クラブ ・松元中学校 ・松元小学校おやじの会 ・松元校区あいご会 ・(社)オンネリネン
ふれあい福祉部会	<ul style="list-style-type: none"> 校区社会福祉協議会 松元地区民生委員児童委員協議会 (有)ケアサポート 地域包括支援センター松元 校区有志者 	
社会教育部会	<ul style="list-style-type: none"> 成人学級 福山保全隊 学校支援ボランティア 校区有志者 	
健康づくり部会	<ul style="list-style-type: none"> スポーツ推進委員 スポーツ少年団 校区有志者 	
青少年育成部会	<ul style="list-style-type: none"> 松元小学校 松元小学校PTA 松元中学校PTA 校区有志者 	

それぞれの役割

- ◇総会→事業報告・計画・決算・予算、役員を選出など
- ◇役員会→課題提案と解決策の検討、事業計画の審議など
- ◇事務局→資料作成、役員会等の運営、行政・団体との連携など
- ◇部会→部会事業の企画・立案・運営、予算の執行など
- ◇協力団体→各部会で企画・立案した事業への運営・参加協力など

8 まちづくりの目標と基本方針

まちづくりの目標

皆で支え助け合い 未来につなぐ 明るく住みよい ふるさと松元

松元校区は自然環境に恵まれ、のどかで住みやすい校区です。しかし、高齢化や核家族化が進み人と人とのつながりの希薄化、住民の価値観の多様化などにより地域活動が停滞していきます。また、新興住宅地への新しい世帯の流入により人口は増加していますが、新旧住民の交流の機会が少なくなり、地域の担い手不足などが課題となっています。

そこで、ふるさと松元が将来にわたって、明るく住みよいふるさとであり続けるために、地域の団体や住民、教育機関などみんなで支え合い、助け合いながら「松元に住んでよかった」と思えるふるさとづくりを進めていきます。

基本方針

6つの部会と目指す将来像

青少年育成部会

心豊かでたくましく
生きる力を育む
まちづくり

まちづくり部会

絆を深めみんなで
参加する活力ある
まちづくり

健康づくり部会

笑顔にあふれ
健康を大切にする
まちづくり

安心安全部会

安全でみんなが
安心して暮らせる
まちづくり

社会教育部会

郷土を大切にし
学び語り合う
まちづくり

ふれあい福祉部会

支え合い、助け合う
思いやりのある
まちづくり



9 校区の現状と課題・5年間の目標・事業計画

【まちづくり部会】

現状と課題

- ◆交通の便が良く暮らしやすい環境にある一方で、高齢化や町内会加入者の減少により以前に比べて町内会活動が衰退している地域や役員の担い手、後継者不足となっている地域が多い
- ◆まちづくりの基盤となる町内会加入への促進や、運営支援に取り組み協働による地域づくりを推進していく必要がある
- ◆子どもから大人まで参加できる行事が少なく、住民同士の触れ合いが希薄になっている為、町内会等と連携し加入促進やふれあい活動など、地域一体となって取り組める事業を展開していく必要がある

5年間の目標

- 校区一丸となった取組みを行い「松元に住んで良かった」と思える活動を行う
- スムーズな町内会運営を行えるよう、協議会でバックアップをしていく
- 各町内会の現状と課題を把握し町内会加入率10%アップを目指す
- 情報交換会や様々な事業を通して地域住民同士の連帯感を強め地域の活性化につなげる



事業計画

事業名	事業内容	事業効果（ねらい）	実施計画
松元スキルアップ活動	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会加入促進 ・町内会長連絡会、研修会 ・町内会支援活動 ・情報発信 ・地元企業との連携 ・松元長老の会結成 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活性化 ・地域のつながりの強化 ・リーダー育成 ・広報活動、情報共有 ・各団体の委員経験者の発掘、交流、意見交換 	毎年
環境美化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・薩摩松元駅の清掃活動 ・花いっぱい運動 ・ゴミ出しマナーの向上 ・年末クリーン活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境美化への意識啓発 ・住みやすい環境づくり 	毎年
ふるさと活性化活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと盛り上げ隊の結成 ・スタンプラリーの開催 ・ふるさと祭りの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい交流 ・住民間の親睦交流 ・郷土愛を育てる ・地域づくりへの参画意識向上 	毎年
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・通り会、校区内企業等との連携 ・地元企業や施設の見学 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有 ・各団体との協力、連携 	毎年

校区の現状と課題・5年間の目標・事業計画

【安心安全部会】

現状と課題

- ◆ I Tへの知識や関心が高い若者世代に比べ、シニア世代ではデジタルデバインド問題が加速している。そのため防災等に関する情報の共有化を図る必要がある
- ◆ 核家族化が進み地域とのつながりが希薄になり、これまでなかった軽犯罪や消費者契約のトラブル、特殊詐欺などが発生する恐れがあるため、普段からの点検活動や声掛けなど地域全体での対策が必要である
- ◆ 都市化している地域と昔ながらの住宅地との地域差があり、それぞれの地域にあった対策の提案、対応が必要である

5年間の目標

- 防災等に関する広報活動や、情報提供を定期的に行い地域住民が安心して生活できる環境づくりを目指す
- 防災研修等を通して一人一人が災害等に対する備えを強化し、災害に強い地域づくりを目指す
- 危険箇所点検や、防犯灯の点検等を通して、教育機関や各自治公民館等との連携、情報の共有を図り事故や犯罪の未然防止に努める

事業計画



事業名	事業内容	事業効果（ねらい）	実施計画
安全な地域づくり活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域住民への広報活動及び情報提供 ・ 特殊詐欺防止、啓発活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 軽犯罪等未然防止 ・ 住民の意識向上 ・ 情報共有 	毎年
校区点検活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危険箇所点検 ・ 防犯灯点検 ・ 環境点検 ・ 災害後の見回り、点検及び対応依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事前把握と啓発 ・ 軽犯罪、交通事故及び不審者対策 ・ 不法投棄対策、迷惑行為防止 ・ 早期改善改良 	毎年
防災対策への取組活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災等に関する研修会の開催 ・ 実技体験 ・ 避難所見学ツアーの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に対する意識向上 ・ 緊急時の対応 	毎年
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ スクールゾーン委員会、青パト隊、各教育団体等との連携、情報交換会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の共有 ・ 各団体との協力、連携 	毎年

校区の現状と課題・5年間の目標・事業計画

【ふれあい福祉部会】

現状と課題

- ◆ デジタル化が進み対応できない高齢者が増加しているため、サポートできる体制を整える必要がある
- ◆ 些細な不安や悩み事等を相談できる環境が少なく、助け合いや支え合いが必要である
- ◆ シニアライフを過ごすにあたっての仲間づくりや活動をする場が少なくなっている
- ◆ 地域福祉を充実させるため、誰でも手軽に入手できる情報提供システムを構築していく必要がある
- ◆ 各団体が各々で活動を行っており情報交換の機会などが少ないため、様々な団体が連携をとり地域福祉の充実を図る必要がある

5年間の目標

- 趣味のサークル活動などを通して仲間づくりや長期継続した活動につなげる。また活動の様子や作品発表の場などを作り、達成感や充実感を感じてもらう
- 高齢者の些細な悩みの解決や生活力の向上を目指し、講座や教室を定期的に開催する。その中でコミュニケーションを深め、社会での「自分の居場所」を構築できる場を整える
- 地域間や世代間を超えての交流を通して高齢者の孤立を防ぎ、生きがいを見つける機会の場をつくる



事業計画

事業名	事業内容	事業効果（ねらい）	実施計画
シニアサークル活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同好会の設立、支援 ・ じいちゃん、ばあちゃんの会 結成 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仲間作り ・ 地域と学校の連携 ・ 各分野講師による教育活動 支援 	毎年
まごの手活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 福祉情報の発信 ・ 各サロンへの出前講座 ・ 介護講習会 ・ デジタル教室 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活の充実 ・ 福祉知識の向上 ・ 交流活動 ・ 生活、生きがい支援 	毎年
ふれあい活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ グラウンドゴルフ大会の開催 ・ 美化活動 ・ ゲームやスポーツ、ものづくり ・ 三世代交流 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 世代間のふれあい ・ ふれあいを通じた心身の健康づくり ・ 支え合いの気持ちを育てる 	毎年
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ 民生委員児童委員、社協等との情報交換会の開催 ・ 福祉施設との交流 ・ 福祉関係機関との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報の共有 ・ 各団体との協力、連携 	毎年

校区の現状と課題・5年間の目標・事業計画

【社会教育部会】

現状と課題

- ◆住宅地の造成により転入者の増加や、地域内の交流の希薄化が進み校区の歩みや史跡等を知る人が減少している。そのため語り伝えることのできる人材発掘や保全活動、PR活動の在り方を検討し「ふるさとを守り、伝える」活動が必要である
- ◆生活が多様化する中で時代のニーズに沿った学習を行い、時代の変化に対応した能力を身に付け生活の充実化を図り、今後の活動につなげる場が必要である
- ◆成人学級の認知度が低く、参加者の拡大や参加者の固定化の解消、学習内容の再検討等が必要である

5年間の目標

- 地域の史跡等を学び、触れる環境を作り子どもたちのふるさとになる活動を行う
- 様々な学習をすることによりくらしの幅や選択肢を広げ、大人の学ぶ力、未来の社会に対応できる力を身に付ける
- これまでの人生や社会生活、講座などで培った知識や技術を地域や子どもたちの育成に生かせるシステム作りを行う



事業計画

事業名	事業内容	事業効果（ねらい）	実施計画
ふるさとを守り伝える活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと守り隊の結成 ・校区内の史跡保護や、史跡マップの作成 ・文化歴史講座、松元検定の実施 ・郷土料理の学習 ・歴史散歩 ・文化伝承 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・歴史や史跡についての理解を深める ・ふるさとへの愛着心を育む ・次世代への継承 ・子どもたちと高齢者の交流 ・地域活性化 	毎年
はじめの一步カルチャー	<ul style="list-style-type: none"> ・男の料理教室 ・終活活動 ・手芸教室 ・パソコン、デジタル教室 ・将棋や囲碁 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・時代のニーズに合わせた学習の場の提供 ・人生の選択肢の増加 ・地域人材の発掘 ・個々のキャリアアップ 	毎年
大人の学校開講	<ul style="list-style-type: none"> ・成人学級の開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・社会の変化に対応できる能力の向上 ・生きがいづくり ・学習意欲の向上 	年10回
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・学校支援ボランティア事業、松元公民館等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有 ・各団体との協力、連携 	毎年

校区の現状と課題・5年間の目標・事業計画

【健康づくり部会】

現状と課題

- ◆ 地域住民が一同に参加できるスポーツイベントが少なく、住民の交流や健康づくり・健康維持増進を目的としたイベントや教室を開催する必要がある
- ◆ 幅広い世代や個々の体力に応じ、身近に手軽に継続してできるニュースポーツなどの普及が必要である
- ◆ 参加率を高めるため中学生や高校生、働く世代、転入者など多くの住民がスポーツ行事に参加できるように開催時期や内容、運営等を工夫し開催していく必要がある

5年間の目標

- 地域住民のスポーツ交流の場を作り、継続して開催できる事業を行う
- スポーツイベントやレクリエーションを通して心身の健康の保持増進を図る
- スポーツ指導者の発掘や養成、情報収集を行い、地域住民のスポーツに親しむ機会の選択肢の幅を広げる
- 見る人にも大きな感動や楽しみ、活力を与えるスポーツイベントを行う



事業計画

事業名	事業内容	事業効果（ねらい）	実施計画
ふれあいスポーツ 交流活動	<ul style="list-style-type: none"> ・バレー、ソフト、卓球 ・親睦ゴルフコンペ ・ウォークラリー ・ドッチボール ・フットサル 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい、親睦、仲間づくり ・生涯スポーツを通しての達成感や充実 ・体力向上 ・地域の一体感と活性化促進 	毎年
スポーツ活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツの普及（出前講座） ・体力測定 ・スポーツ優秀賞表彰 ・健康教室（体操、食事） ・スポーツ指導者の発掘 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力、健康づくりへの意識向上 ・ニュースポーツの普及 ・健康保持、増進 	毎年
スポレクフェスタの 開催	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースポーツ体験 ・スポーツレクリエーション 	<ul style="list-style-type: none"> ・世代間交流 ・地域住民との交流 	毎年
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ推進委員やスポーツ少年団等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有 ・各団体との協力、連携 	毎年

校区の現状と課題・5年間の目標・事業計画

【青少年育成部会】

現状と課題

- ◆子どもたちは室内での遊びが多くなり、地域における体験活動の機会や場所が減少している
- ◆子どもたちを取り巻く環境は、核家族化や物質的豊かさの中で情報機器が身近にあり、過度な依存や家庭での教育力が低下しているため、子どもだけではなく大人も教養を身に着ける必要がある
- ◆子育て世代では親族や近隣から得られていた支援や知識などが得られにくくなり、孤立や育児の負担が大きくなっているため、「ご近所ともだち」を作れる環境やシステムを構築する必要がある
- ◆安全や事故防止等を優先することで様々な制限ができ、子どもたちが体験できることが少なくなっているため、「学校や家庭では体験できない活動」の推進を図る

5年間の目標

- 次世代を担う子どもたちがたくましく育ち、自主性・主体性を高め将来の可能性を広げる
- 伝統行事や日本古来の習慣等を学び、地域資源を活用した事業を展開する
- インターネット社会の発展など変化の激しい現代社会に対応できる能力を養い、子どもたちの「この先の人生」につなげることでできる事業を行う
- 自然体験や様々な人との交流を通して、思いやりや社会のルール、コミュニケーション能力・協調性を身に付ける



事業計画

事業名	事業内容	事業効果（ねらい）	実施計画
ふるさと自然体験塾	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽から収穫、試食まで行う農業体験 ・川の生物調査 ・農業のプロの発掘 ・グリーンワークショップの開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・農業に携わる人材の発掘 ・食や自然に関する知識を育てる ・地域資源の活用 	毎年
ものづくりワークショップ	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源を活用したものづくり ・昔のおもちゃ作り、体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものづくりを行うことで達成感を得る ・コミュニケーション能力アップ 	毎年
季節の伝統行事体験活動	<ul style="list-style-type: none"> ・こいのぼり、七夕、十五夜、クリスマス、正月など ・季節の飾り物の作製や体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝統行事の保存、伝承 ・行事の意義の理解 ・地域住民の結束力を育む 	毎年
松元こども未来塾	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラミング講座 ・親子デジタル講座 ・地元企業の見学や職業体験 	<ul style="list-style-type: none"> ・環境と未来を考えSDGsに貢献する ・思考力を身につける ・時代に対応できる能力を育む 	毎年
関係団体との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・教育機関やあいご会等との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・情報の共有 ・各団体との協力、連携 	毎年

10 これまでの地域づくりの様子

第1期（平成29年度～令和4年度）の活動の様子



定期総会



役員会



合同部会



部会



情報交換会



プラン更新委員会



美化活動（ま）



花いっぱい運動（ま）



薩摩松元駅の清掃（ま）



危険箇所点検（安）



危険箇所点検後の報告会（安）



青パト隊の結成（安）



防火訓練（安）



救急救命講習（安）



福祉研修会（福）



出前講座（福）



介護講習会（福）



詐欺防止講習会（福）



子育てサロン支援（福）



田植え体験学習（社）

※（ま）・・・まちづくり部会
（社）・・・社会教育部会

（安）・・・安心安全部会
（健）・・・健康づくり部会

（福）・・・福祉部会
（青）・・・青少年育成部会

これまでの地域づくりの様子

第1期（平成29年度～令和4年度）の活動の様子



芋植え体験学習（社）



陶芸教室（社）



地域文化祭作品展示（社）



クラフトバンド講習会（社）



寄せ植え講習会（社）



視察研修（社）



稲刈り体験学習（社）



芋掘り体験学習（社）



水族館見学（社）



しめ縄飾り作り（社）



餅つき体験学習（社）



ソフトバレーボール大会（健）



スポレクフェスタ（健）



ニュースポーツ体験会（健）



グラウンドゴルフ大会（健）



サッカーゴルフ大会（健）



羽子板・手形年賀状作り（青）



妙円寺遠行（青）



三門松作り（青）



ふるさと探検
ウォークラリー（青）

※（ま）・・・まちづくり部会
（社）・・・社会教育部会

（安）・・・安心安全部会
（健）・・・健康づくり部会

（福）・・・福祉部会
（青）・・・青少年育成部会

第2期松元校区まちづくり振興計画

発行：松元校区まちづくり協議会

住所：〒899-2703

鹿児島市上谷口町987-1（松元校区公民館内）

電話：099-210-7403

FAX：099-210-7404

Mail：matsu.machi.kyou@gmail.com

編集：第2期プラン更新委員会

令和5年4月